

PRAEVIDENTIA DAILY (10月27日)

昨日までの世界：米株価続伸でドル安

先週金曜は、東京時間午前中には米ニューヨークで西アフリカから帰国した医師がエボラ出血熱検査で陽性との報道を受けて株安、米中長期債利回りの低下と共にドル/円や豪ドルが軟化する局面がみられた。欧州時間入り後も、26日発表予定のユーロ圏銀行のストレステスト結果で、25行が不合格で、うち10行は資本不足との関係者発言を引用した観測記事を受けた欧州株価の軟調や、米新築住宅販売件数が9月は46.7万件と若干の予想比悪化に留まったが、前月分が46.6万件へ大きく下方修正されたことを受けて、ドル/円は再三下押し圧力を受け108円を下回っていた。

もっとも、米株価が引けにかけて上昇し10月15日の安値からの回復傾向が続いたことから、米中長期債利回りの持ち直しと共にドル/円は108円台を回復、結果として108円を挟んだもみ合いの展開だった。この間、ユーロ、ポンド、豪ドル、NZドルなどは対米ドルで強含みとなり、全体として米ドル安となっている。

なお、英3QGDPは前期比+0.7%、前年比+3.0%と高成長ながら市場予想通りであったため、ポンドの反応は殆どなかった。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.1	+0.00	-0.00	-0.01	+0.01	-0.00	-0.01	+0.7	+1.0	-1.9	-0.8
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	+0.2	+0.01	+0.01	-0.00	-0.00	-0.01	-0.00	-0.4	+0.7	-0.8	+0.00
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.4	+0.00	-0.00	-0.00	-0.01	-0.01	-0.00	-0.5	+0.7		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.4	+0.01	+0.01	-0.00	+0.02	+0.01	-0.00	+0.7	-0.0	-0.8	
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	+0.3	+0.00	+0.00	-0.00	+0.04	+0.04	-0.00	+0.7	-0.0	-0.8	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	+0.0	-0.00	-0.00	-0.00	-0.02	-0.00	+0.01	+0.7	-1.9	-0.8	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

(出所) トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+1.2	+0.03	+0.02	-0.01	+0.08	+0.07	-0.00	+4.1	+5.2	-1.8	+1.2
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.7	-0.01	+0.00	+0.02	-0.05	+0.02	+0.07	+2.7	+4.1	+1.2	-0.00
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.6	-0.04	-0.02	+0.02	-0.03	+0.05	+0.07	+3.1	+4.1	-1.7	-0.9
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	-0.8	-0.02	-0.01	+0.02	-0.02	+0.05	+0.07	+3.1	+4.1	-1.7	-0.9
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-0.0	-0.02	-0.01	+0.02	-0.04	+0.04	+0.07	+1.2	+4.1		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	-0.4	-0.01	+0.02	+0.02	+0.01	+0.07	+0.06	+3.1	+4.1	-1.8	-0.9

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

(出所) トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

## きょうの高慢な偏見：PMI 対 IFO

## きょうの注目通貨：EUR ↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
ドイツ 10 月 Ifo 景況感指数	18 : 00	104.7	104.3	
米 9 月中古住宅販売仮契約・前月比	23 : 00	-1.0%	+0.5%	

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

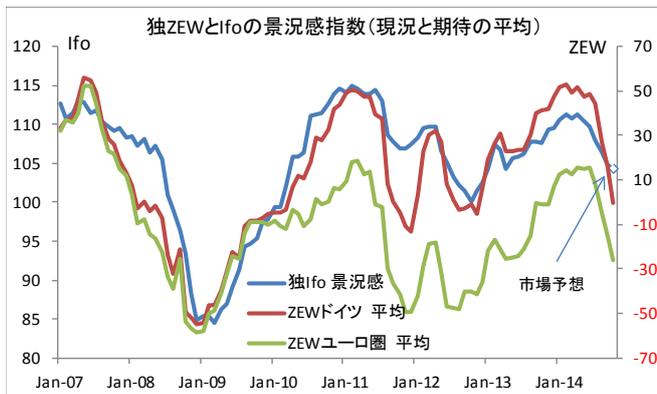
本日はユーロが注目で、週末発表のユーロ圏銀行のストレステスト結果への反応と、ドイツ Ifo 景況感指数が先週発表のドイツ PMI (コンポジットは前月の 54.0 から 54.3 へ改善) のように改善するのが注目される。

26 日公表のユーロ圏銀行 130 行に対するストレステストの結果では、昨年末時点で 25 行が資本不足で不合格とされたが、今年 9 月末までに 12 行は資本増強により資本不足を解消、残り 13 行が依然として 95 億ユーロ (約 1.3 兆円) の資本不足を解消すべきとされた。この結果を受けて、事前報道以上の不合格行や資本不足はなかったとの見方からか、週明け早朝にユーロは一時 1.267 ドルから 1.27 ドル手前まで上昇したが、その後すぐに反落している。

ドイツ Ifo 景況感指数については、先週発表の PMI は予想外の改善を示したが、連動性が高く既に発表されているドイツ ZEW (期待指数と現況指数の平均) は大幅に悪化していることを踏まえると Ifo の改善は予想し難く、ごく僅かな悪化に留まっている市場予想を下振れするリスクの方が高く、ユーロ反落の可能性が高いとみられる (下図を参照)。

ドル/円についても、先週 23 日にドイツ、ユーロ圏 PMI の予想比上振れ発表後にドル/円が 107 円台前半から一気に 108 円台へ上昇したことを考えると、本日の Ifo 景況感指数が予想を下振れる場合には、やはりユーロ圏は世界景気減速の震源地であることに変わりはないとの見方を再確認させることになり、再び 107 円半ばへ反落する材料となりそうだ。

26 日実施のブラジル大統領選の決選投票では、10 月 5 日の第 1 回投票後には市場寄りのネベス候補勝利の可能性の高まりを好感・期待してレアルが上昇したが、開票率 98% の段階でルセフ現職大統領が 51.45% 対 48.55% で若干リードしており、ルセフ大統領勝利だと失望から一旦レアル続落に繋がりそうだ。但し僅差であることから、ネベス候補の主張にも一定の理解を示し、今後必要な改革が実行される可能性も残っている。



## ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。  
当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。  
当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社  
金融商品取引業者 (投資助言・代理業) 関東財務局長 (金商) 第 2733 号  
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641